

第3回 西海市風力発電等に係るゾーニング計画 協議会 議事概要

日時：平成29年12月21日 13:15～15:15

会場：西海市大瀬戸コミュニティセンター3F

1、開会あいさつ

2、議事

(1)風力発電等に係る候補エリア（案）

(2)今後の検討内容について（事業推進エリアの選定方法等について）

事務局の西海市及びアジア航測（株）（以下、事務局西海市、事務局AAS）より上記の議事についての説明があり、候補エリア（案）について承認、今後の検討内容については次回分科会協議会で詳細に検討することとなった。

◆配布資料

資料1 協議会委員・オブザーバー名簿

資料2 座席表

資料3 これまでに出的意見等とその対応（案）

資料4 風力発電等に係る候補エリア（案）

資料5 今後の検討内容について

◆質疑応答

・資料3

【佐世保海上保安部】

定期航路の対応案については了解した。ただし、最終的な事業推進エリアを確定する上では十分な協議が必要などの文言を残すようにしていただきたい。

→承知した。（事務局AAS）

【長崎総合科学大学新技術創成研究所 池上会長】

世界遺産登録に係る構成資産の眺望景観の対応案があるが、佐世保市、長崎市はどのようにお考えか？

→世界遺産登録に係る構成資産の担当部署は別になるので、本資料を持ち帰り、担当部署に確認したい。（佐世保市、長崎市）

【長崎大学環境科学部：菊池委員】

念のための確認だが、資料3と別図については、公開という認識で良いか？

→今回の資料は公開ということで考えている。（事務局西海市）

【大瀬戸町漁業協同組合：竹嶋委員】

別図 7 に操業している魚種ごとの凡例があり、各魚法をエリアごとに示しているが、ゾーニングにはどのように反映されていくのか？

→別図 7 はヒアリングやアンケートをもとに示しており、どのように反映していくかについては、資料 4 以降で説明する。(事務局 AAS)

・資料 4

【長崎総合科学大学新技術創成研究所 池上会長】

図 3-6 の緑色の候補エリア案の中には黄色のエリアがあるが、このエリアは何か？また、黒い波線で囲ったエリアはどういう意味合いがあるか？算出している面積は緑色のエリアの合計なのか、黒い波線で囲ったエリアなのか？

→農地利用の見込みが低い耕作放棄地は利用を検討してほしいと分科会でご意見をいただいたため、候補エリアと合わせて黄色で表示している。波線で囲ったエリアについては、風力事業は面的に開発されるわけではないことから、風車が建つウィンドファームの可能性を考えて黒い波線でエリアを示している。風車の立地としては緑色のエリアのいずれかになるが、取り付け道路等はその間に建設される場合も考えられる。面積に関しては緑色のエリアの積算となっている。(事務局 AAS)

【佐世保海上保安部】

一次航路が反映されていることを確認した。最終的には事業推進エリアの設定の際には調整が必要となるので、その際は意見を言わせていただきたいと考えている。

【九州地方環境事務所】

前回の分科会の際にも確認しているが、九州自然歩道は取り付け道路等での利用のために位置をおいているという認識で良いか？

→その認識である。(事務局 AAS)

【西海市教育委員会社会教育課：代理川口委員】

図 3-6 では埋蔵文化財が示されているが、国指定文化財の七ツ釜鍾乳洞の指定地が示されていないので、示していただきたい。

→保全エリアに含めているためすでに除いて図示しているが、最終的には追加して表示する。(事務局 AAS)

【西海市農業委員会：岩崎委員】

南のエリアは耕作放棄地が多くなっているが、このエリアは岩が多く、将来的にも基盤整備を行える見込みがないので、全体的に地権者の同意が得られれば、問題ないと考えている。

【日本野鳥の会 長崎県支部：鴨川委員】

ゾーニングエリアは、多くの種類の渡り鳥のルートであることは確かであるので、その重要性を認識したうえで事業実施の段階で詳細に調査していくことになるだろう。

【西海市水産課：岸下委員】

ゾーニングエリアでの漁業の操業とどのように調整していくかというのが大きな課題になる。漁港の施設については、国のガイドラインがあるから候補エリアからは外さないということだが、事業推進エリアの設定の段階では当然考慮されるべきと考えている。

【西海市農業委員会事務局：中村委員】

農振農用地域と基盤整備区域については今後、個別に検討されるということなので、特に意見はない。

【長崎大学環境科学部：菊池委員】

この検討プロセスを踏む中で、協議会に参加しているメンバーも事務局も現時点で得られる情報を集め、積み重ねていくというスクリーニングの方法に理解が深まったと感じている。結果として、候補エリアは洋上では最初のおおよそ半分、陸上ではだいぶ小さくなり、絞られてきているので、検討の意味があったといえるだろう。今後、事業推進エリアの抽出にあたって、関係者のご意見をさらに慎重に丁寧に取り入れていくプロセスが必要で、協議会関係者・事務局の努力が必要だろうと感じた。最後に、風力発電は日本の国策として推進の流れの中で、ここで踏んだプロセスは日本全国の風力発電の設置についての一つのモデルケースになりうるので、その点でも引き続き努力が必要だろうと感じている。

【長崎大学大学院水産・環境科学総合研究科：山口委員】

漁業と協調できるかは現時点で不明点が多々あるが、定置網と養殖のところ以外は候補エリアに含めるということなので、これから事業が具体的になるときに漁業者の方たちとの調整が必要だろう。また、影響も含めて未知な部分が多いので、柔軟な対応が必要だろう。日本全国で同様のケースもあるので、類似ケースの考え方も確認しながら知見を蓄積していくことになるのだろう。

【長崎総合科学大学新技術創成研究所 池上会長】

候補エリア案について事務局案でご了承いただくということで処理させていただく。

・資料 5

【佐世保海上保安部】

図 1-1 に灯台・灯浮標が示されていないが、示していただけないだろうか？

→図 1-1 は事業推進エリア案として 4 つの条件を示している。灯台・灯浮標及び離隔範囲については、最終的には事業推進エリアからは除外される予定。

→了解した。また、事業推進エリアを選定の過程で、航行安全面で配慮すべき事項を意見させていただきたいと考えている。

【長崎県 学芸文化課】

埋蔵文化財というのは周知されているものがマップ化されているが、事業を進めていく中で発見される場合もあるので、埋蔵文化財の確認も配慮事項として記載いただきたい。

【西海市情報観光課：福田委員】

地域振興策については、観光面の話よりは地域との共生を考えなくてはいけない。実際の計画があって、その地域と話をしていくと、資料に列記している共生メニュー以外にも意見が出てくることもあるので、その際に話し合いたいと考えている。

【西彼町漁業協同組合：川添委員】

昨年度の第 1 回の協議会で山口先生がゾーニングエリア内は全国でも有数の好漁場だとおっしゃっていたが、多種多様な漁場でどこを見ても劣るところはない、好漁場だと我々も実感している。その中で、特に共同協業権内に風車が建つ検討がされる場合には、大勢の組合員の理解なしにはできないので、十分注意しながら理解を得られるよう熱心な対応をお願いしたい。

【西海大崎漁業協同組合：小山委員】

江島では島民が 130 名程度、漁協は実際に働いている人が 4 名ということで、無人島になるのではないかと危機感もある。そのため、可能であれば、われわれの共同漁業権内では共存共栄していけたらと考えている。

【事務局西海市】

本日出席のオブザーバーの中で、市内のダイヤソルト様、黒瀬建設様、長崎新エネ開発様はこの地域の中で事業を営んでおられ、事業者目線で総合的に地域にお詳しい方々と理解している。候補エリアを選んだ過程や今後の事業推進エリアを選定していく段階でお気づきの点・留意点などがありましたら、ぜひご意見いただきたい。また、航路の部分では一番影響すると思われる、崎戸商船様もお見えになっている。昨年度も積極的なご連絡をいただいているので、ご感想・候補エリアの選定の仕方や、航路への影響・離隔距離の取り方などご意見いただけたらと考えている。

【ダイヤソルト(株)崎戸工場】

候補エリアは十分な調査内容に基づいた選定をされているので、十分な選定ではないかと感じている。今後は、漁協の意見でもあったように地域の住民に十分な理解が得られるように進めていただければと考えている。

【黒瀬建設（株）西海本店】

今回のような事業の開発段階、運営段階、波及段階で我々建設業も何らかのお手伝いができるのではと期待している。

【(有) 長崎新エネ開発】

住民の皆様に迷惑をかけずに同意が得られれば、進めていくべきなのではないかと思う。NHK の番組でエコが求められる時代になってきたと放送されていた。そういった流れも地域の方には理解していただきたいと思うし、風力発電事業者も地元還元するような方法で、一方的に利益を吸い上げるのではなく、共存していくような仕組みで再生可能エネルギーを活かして、西海市としても発展していくべきではないかと思う。

【崎戸商船】

江島-平島航路の定期事業をやっている。地域住民、漁業関係者の理解が得られれば、安全航行を前提にした航路の変更も検討していきたいと考えている。ただし、事業計画変更届けを国交省に提出しているので、ある一定の航路を変更するのであれば、一定の期間を要する。しかし、航路の変更による航行時間の超過は地域住民の方の理解なしには実現できないので、その調整はよろしくお願いしたい。全面協力していきたい。

3、その他

今後の予定について、以下のとおり、事務局西海市より告知があった。

- ・本日協議いただいた資料 3,4,5 についてパブリックコメントを年末から次回分科会開催前を目途に実施する。
- ・次回分科会・協議会以降では事業推進エリアの選定と地域との共存共栄策の検討をしていただきたい。
- ・次回分科会の開催日程は追って連絡する。

4、閉会